

ISSN 1344-5162

ふらたなす

第 58 号

「韓国・朝鮮半島を描いた絵本」



©馬場のぼる

平成 20 年 3 月

東京都立多摩図書館

「韓国・朝鮮半島を描いた絵本」

都立図書館は昭和 50 年（1975）から韓国・朝鮮語資料の収集を始めました。現在都立多摩図書館児童青少年資料係では、約 1,100 冊の韓国・朝鮮語の子供の本を所蔵しています。その一部を『ぷらたなす』41 号（1999 年 2 月）でも紹介いたしました。また、平成 18 年 12 月 9 日から平成 19 年 1 月 17 日まで、「いま韓国の絵本がおもしろい！ 朝鮮半島を描いた絵本展」と題して企画展を行い、好評をいただきました。

この時の展示を中心に、あらためて韓国・朝鮮語の絵本の世界を紹介いたします。絵本をとおして、韓国・朝鮮の文化や風物を味わっていただくとともに、朝鮮半島の子供の本の出版文化の一端をお伝えできれば幸いです。

<目次>

I 章	韓国・朝鮮半島の伝統・風物	p. 4
II 章	韓国・朝鮮半島のおはなし	
1.	よく知られた昔話	p. 7
2.	動物やおばけが出てくるおはなし	p. 11
3.	そのほかのおはなし	p. 13
III 章	文学作品を絵本にしたもの	p. 15
IV 章	韓国の創作絵本	p. 19
V 章	日本で発行された絵本	p. 32
	参考文献	p. 34
	書名索引	p. 34
	画家索引	p. 35

<凡例>

番号	書名	著者名	出版社	出版年	ISBN	<当館請求記号>
* 紹介文						[対象]

- 1 図書の配列は、原書の発行年順とした。ただし、I章は内容別に配列した。
- 2 図書には各章毎に通し番号をふった。なお、原書と日本語訳本を所蔵している場合には、同一番号とし、原書に「H」を付けた。
- 3 同一画家・作家の作品を別の所に掲載している場合は、以下のように表示した。
 - <クォンユンドク : IV 1 4 >
=IV章14に、クォンユンドクの紹介あり。
 - 【이춘길 (イチュンギル 李春吉) : I 1 9】
= I章19番目に、李春吉の作品あり。
- 4 原書しかない図書については、読者対象を目安として記入した。
 - [幼] 幼児向き
 - [低] 小学校低学年向き
 - [中] 小学校中学年向き
 - [高] 小学校高学年向き

<ハンゲル資料の検索について>

都立図書館の韓国・朝鮮語資料は、国立情報学研究所の、「GeNii 総合検索システム」の『NACSIS Webcat Plus』の「一致検索」で検索可能です。

<<http://webcatplus-equal.nii.ac.jp/libportal/equalTop.html>>

<都立図書館ホームページのアドレス>

<<http://www.library.metro.tokyo.jp/>>

I 章 韓国・朝鮮半島の伝統、風物

1 家

1 경북궁 (景福宮) 이승원그림, 리혜선글 초방 2004 89-90614-13-9 <HE-i47-1> * 景福宮は、14世紀に建てられた朝鮮王朝の王宮。ソウルの中心街にあるこの王宮を様々な角度からスケッチしている。[中]
2 わたしの社稷洞 (サジクドン) 한손옥그림, 김이네文, おおたけきよみ訳 アートン 2004 4-901006-87-8 <E/ハ 2073/601> * ソウルの路地裏に住む人々の営みを撮った写真絵本である。
3 만히의いえ クォンユンドク絵と文、みせけい訳 セーラー出版 1998 4-88330-127-3 <E/ク 416/301> * マンヒはおじいちゃんおばあちゃんの家に移した。マンヒの案内とともに、部屋の一つ一つを克明に描く。<クォンユンドク：IV 1 4>
3 H 만희네 집 (マンヒのいえ) 권윤덕글・그림 길벗어린이 1996 89-86621-10-X <HE-K22-1>

2 行事・生活

4 나이살이 (人生の儀式) 고광삼그림, 청동말글 문학동네 2004 89-8281-801-4 <H385-1-2004> * 誕生から死を迎えるまでの節々に営まれる儀式を説明する。[中]
5 소리ちゃんのチュソク 이옥베그림と文、みせけい訳 セーラー出版 2000 4-88330-139-7 <E/イ 2040/601> * チュソクとは、旧暦の9月15日、中秋の名月に家族が集まる、日本のお盆に当たる行事。ソリちゃん一家が故郷で過ごすチュソクの様子を描く。<イオクベ：IV 1 2>
5 H 솔이의 추석이야기 (ソリちゃんのチュソク) 이호백글・그림 길벗어린이 1995 89-86621-19-3 <HE-i39-1>
6 시장 나들이 (市場に行く) 최민주그림, 정승모글 보림 1995 89-433-0090-5 <HE-C11-1> * ニワトリが市場に現れて飛びまわる。男の子が追いかけると市場は大混乱になった。大画面を巧みに使った仕掛け絵本。[中]

3 歴史

7 고인돌 (ドルメン 巨石の墓)

	<p>이춘길그림, 하문식글 보림 1995 89-433-0086-7 <HE-i15-2> * 모그라의一家が穴を掘っていると不思議な所に出た。そこは古代の人が作った大きな石の墓だった。【이춘길 (イチュンギル 李春吉 1954~ : 多くの絵本を出している中堅画家 : I 1 9、II 4 8) [中]</p>
8	<p>고구려 나들이 (高句麗への旅) 한유민그림, 전호태글 보림 1995 89-433-0076-X <HE-H9-2 > * ミンギとフィギが、山で見つけた穴に入っていくと、壁に大きな仏様や天女たちが描かれていた。【한유민 (한유민 韓裕珉 1968~) : II 3 0] [中]</p>
9	<p>장승 (チャンスン 道しるべ) 이규경그림 주장현글 보림 1995 89-433-0077-8 <HE-i18-1> * 村人たちが木を倒してチャンスンを作る。村の入り口に立てられたチャンスは、村の守り神でもある。[低]</p>
1 0	<p>해시계 물시계 (日時計水時計) 이영원그림, 정동찬글 보림 1995 89-433-0073-5 <HE- i13-3> * 昔の時計を紹介しながら、「時間」について教える。【이영원 (イヨンウオン) : II 2 8] [低]</p>

4 衣・布

1 1	<p>새색시 (花嫁さん) 박현정그림 초망책방 2004 89-90614-12-0 <HE-P28-1> * 美しい花嫁衣裳の一つ一つを精緻に描く。[中]</p>
1 2	<p>솔비름 お正月の晴れ着 페히온जू絵と文, 피온키쟈訳 세ーラー出版 2007 978-4-88330-159-1 <E/페 2018/601> * 正月の朝、女の子が新しいチマ・チョゴリを一つ一つ身につけていく。新年を迎える喜びがあふれている。</p>
1 3	<p>솔비름 お正月の晴れ着 2 男の子編 페히온जू絵と文, 피온키쟈訳 세ーラー出版 2007 978-4-88330-163-8 <E/페 2018/601-2> * 新年の晴れ着の続。お母さんが縫ってくれたパジ・チョゴリを着る。</p>
1 4	<p>한 조각 두 조각 세 조각 (韓国キルト 1. 2. 3) 김혜환저 초망 2003 89-90614-02-3 <HE-K45-2> * 韓国の伝統的な布 (포쟈기) を使った数の絵本。作者のキムヘファン (金恵煥 1959~) は、染色学校を卒業後、伝統工芸学校裁縫天然染色課程で学んだ。[幼]</p>

5 料理

1 5	<p>떡잔치 (餅まつり) 정대영그림, 강인희글 보림 1995 89-433-0071-9 <HE-C5-2> * 春夏秋冬の季節ごとに作るトック (お餅) を紹介。貼り絵絵本。[低]</p>
-----	--

16	<p>きょうはソンミのうちでキムチをつけるひ!</p> <p>パンジョンファ絵、チェインソン文、ピョンキジャ訳 セーラー出版 2005 4-88330-155-9 <E-パ2019-601></p> <p>* ソンミの家でキムチを漬けると、ねずみたちも真似て作る。</p>
17	<p>숨쉬는 항아리 (息をしているハンアリ)</p> <p>박완숙그림、정병락글 보림 1995 89-433-0075-1 <HE-P8-1></p> <p>* 素焼きの甕「ハンアリ」は、空気を通すのでキムチや醤油の腐敗防止になり、長い間人々に使われてきた。仕掛け絵本。【박완숙 (パクワンスク) : II 29】 [中]</p>

6 文・紙

18	<p>あかいきしゃ はじめてであうハングルの絵本</p> <p>パクウニョン絵と文、おおたけきよみ訳 アートン 2004 4-901006-83-5 <E/パ2016/601></p> <p>* 軽快に走る赤い汽車のお話を通してハングルを教える。ハングル併記。パクウニョン (朴恩令 1965~) : 梨花女子大学校生活美術科卒。1998年ボローニャ国際図書展イラストレーターノンフィクション部門受賞。</p>
19	<p>한지들이 (韓紙くん)</p> <p>이춘길그림、이종철글 보림 1995 89-433-0070-0 <H585-1-96></p> <p>* 紙がどうやって作られ、どのように使われてきたかを描く。【이춘길 (イチュンギル) : I 7、II 48】 [中]</p>

7 音楽

20	<p>사물놀이 = SamulNori (サムルノリ)</p> <p>조혜란그림、김동원구음・감수 길벗어린이 1998 89-86621-39-8 <H762-1-1998></p> <p>* ドラや太鼓などの打楽器だけで演奏する伝統音楽を、躍動感あるタッチで描く。CD付き。【조혜란 (チョヘラン 趙惠燦 1965~) : II 52】 [低]</p>
21	<p>사물놀이 이야기 (サムルノリ物語)</p> <p>곽영권그림、김동원글 사계절 2001 89-7196-789-7 <HE-K53-1></p> <p>* ある日白頭山の麓の静かな国を災いが襲う。王が神に祈ると神は東西南北で求めた4種類の楽器を一度に鳴らすように告げる。CD付き。[中]</p>
22	<p>水宮歌 (スグンガ) こどもパンソリ絵本</p> <p>이윅남絵、이ヒョン스文、おおたけきよみ訳 アートン 2004 4-901006-96-7 <E/イ2114/601></p> <p>* 「パンソリ」とは、歌い手が太鼓に合わせて節をつけながら物語を歌う民俗芸能。ウサギの肝をめぐる竜宮の物語。CD付き。</p>
23	<p>심청가 (沈清歌)</p> <p>최은미그림、이현순글 초망책방 2003 89-90614-17-1 <H762-2-2006></p>

<p>* パンソリの代表的な演目の一つ「沈清歌 (シムチョンガ)」を抜粋して、子供向きに構成した絵本。CD付き。[高]</p>
<p>2 4 노래 노래 부르며 (うたをうたおう) 장흥을그림, 이원수의작사, 흥난파의작곡 길벗어린이 1997 89-86621-29-0 <H767-2-97></p> <p>* よく歌われている童謡に、伝統的な技法による美しい絵が描かれている。巻末に楽譜付き。[低]</p>
<p>2 5 日よ日よ紅 (アケ) え日よ 金素雲訳編『朝鮮童謡選』『朝鮮民謡選』より 浅野由美子木版画 林容澤解説 かりん舎 2006 4-902591-04-9 <733/5004/2006></p> <p>* 金素雲 (1908~1981) は、日本に長く滞在し朝鮮の口伝民謡の採集や紹介を行った。彼が訳した詩に版画をつけた絵本。ハングル併記。</p>
<p>2 6 ことりはことりは木でねんね 韓国のこもりうた チョンスニ作、松谷みよ子訳 童心社 2007 978-4-494-01096-7 <E/チ 2027/601></p> <p>* お母さんが坊やを子守唄で寝かしつける情景を幻想的に描く。<チョンスニ: IV 3 2></p>
<p>2 6 H 새는새는 나무자고 (ことりはことりは木でねんね) 전순희그림, 정래동요 창작과비평사 2006 89-364-5411-0 <HE-C-1></p>
<p>2 7 チャジャン歌 韓国子守唄 한지히絵, 펙찬우詩, 大竹聖美訳 古今社 2003 4-907689-31-4 <388.9/5003/2003></p> <p>* チャジャン歌とは子守唄のこと。昔から伝承されてきた子守唄に暖かな絵が添えられている。<한지히: IV 1 8></p>

II章 韓国・朝鮮半島のおはなし

1 よく知られた昔話

① あずきがゆばあさんとトラ (팔죽 할머니와 호랑이)

トラに命ごいをして小豆が育つまで待ってもらったおばあさんが、栗やキリやしょいこの活躍で命が助かる。さながら日本の「サルカニ合戦」思わせる。

1 あずきがゆばあさんとトラ

崔淑姫絵、趙大仁文、市場淳子訳 ポリム 1997 89-433-0330-0
<E/チ 331/301>

* 【崔淑姫(チェスッキ 1964~) 釜山生まれ。ソウル大学校産業デザイン科卒: II 5 7】

1 H	팔죽 할머니와 호랑이 (アズキがゆばあさんとトラ) 최속희그림, 조대인글 보림 1997 89-433-0259-2 <HE-C16-1>
2	チゲとむしろとおばあさんのとらたいじ 譚小勇絵、小沢清子文 太平出版社 2000 4-8031-3507-X <E/タ 388/601> * 「あずき畑」ではなく「大根畑」であるなど、相違点がいくつかあるが、類話の日本発行の絵本。
3	あずきがゆばあさんとトラ 윤미숙絵、チョホサン文、おおたけきよみ訳 アートン 2004 4-901006-93-2 <E/ユ 2015/601> * 윤미숙 (윤미숙 1969~): コラージュや動きのある画面構成で登場人物をユーモラスに描いている。2004年ボローニャ絵本原画展で、フィクション部門ラガッツィ賞受賞。

② とらと干し柿 (호랑이와 곶감)

「ホランイ (トラ) がくるよ」と脅かされても泣き止まない子どもが、「ほらコッカム (干し柿) だよ」と言われて泣き止んだ。それを表で聞いていたトラは、干し柿がどんなに怖いものかと想像する。日本の「ふるやのもり」に似たお話。

4	とらとほしがき 福田岩緒絵、李英俊文、卞記子訳 鈴木出版 1992.1 コドモノクニタンポポ版 5巻10号
5	とらよりこわいほしがき 太田大八絵、小沢清子文 太平出版社 2003 4-8031-3504-5 <E/オ 2/607>
6	호랑이와 곶감 (トラと干し柿) 환영그림, 위기철글 국민서관 2004 89-11-02224-1 <HE-K62-2> * 躍動感あふれるトラの姿は、韓国人のトラへの親近感を伝える。 【김환영(キムファンヨン 1959~): 忠清南道生まれ。弘益大学で西洋画を専攻。他に、ベストセラー『庭を出ためんどり』(平凡社 2003)の挿し絵も描く:Ⅲ4】[低]
7	とらとほしがき 韓国のむかしばなし 박계현再話絵、おおたけきよみ訳 光村教育図書 2006 4-89572-658-4 <E/パ 2024/601> * 박계현: ソウルの延世大学フランス文学科卒業後、カナダに渡り、トロントで美術を学ぶ。現在もトロント在住。

③ おどりのすきなトラ

踊りの大好きなトラが、狩に行つて木の上に追いつめた木こりを捕まえようと、トラバシゴを組んだが、木こりの笛の音に踊りだしてしまうという話。

8	とらとふえふき 木村昭平絵、金恵京再話 福武書店 1983 4-8288-1204-0 <E/キ93/2>
9	おどりトラ 韓国・朝鮮の昔話 鄭淑香画、金森襄作再話 福音館書店 1997 <E/チ32/301> 4-8340-1458-4 * 民画の伝統を活かし、昔話の雰囲気をよく伝えている絵本。<鄭淑香：V3>
10	おどりのすきなとら 井上洋介絵、松谷みよ子作 太平出版社 1999 4-8031-3501-0 <E/イ3/327>

④ フンブとノルブ (흥부와 놀부)

心のやさしい弟のフンブとケチで欲張りの兄のノルブの話。ある日フンブは巣から落ちて脚が折れたツバメを助ける。日本の「舌切り雀」に似た話である。

11	フンブとノルブ チョンスクヒャン絵、いとうみを文 鶏林館書店 1980 <E-チ32-1> * <チョンスクヒャン：V3>
12	흥부와 놀부 (フンブとノルブ) 김현구성, 신경림글 어문각 1984 <HE-S19-1> * 切り絵風の絵で描かれている。[低]
13	フンブとノルブ 金正愛絵、韓丘庸文 朝鮮青年社 1985 <E-キ125-1> * 文を書いた韓丘庸(1934～)には『ソウルの春にさよならを』(講談社1976)など朝鮮半島を描いた多くの児童文学の創作・評論がある。 <金正愛：V5>
14	つばめがはこんだ南のたね 朝鮮民話 チエルシノヴァ絵、斎藤公子編集 創風社 1992 4-915659-51-8 <E/チ311/301>
15	흥부 놀부 (フンブ ノルブ) 박성완그림, 황경글 보림 1997 89-433-0265-7 <HE-P10-3> * <박성완 (パクソンワン)：IV6> [低]
16	ノルブとフンブ リュウチェスウ絵、パック ウンドク文、田島伸二文監修 汐文社 1999 4-8113-7140-2 <E/リ304/601> * <リュウチェスウ：IV3>
17	박타령 (パク打令 興夫伝ーフンブ伝) 한상언그림, 김장성글 여우고개 2005 89-953028-1-X <HE-H20-1>

* I章「22」で説明したパンソリの一つ、フンブとノルブの話。デフォルメされた絵が楽しい。[高]

⑤ ヘンニムとタルニム (햇님과 달님 お日さまとお月さま)

姉と弟が、家で母を待って留守番をしているが、母親は、帰りの山道でトラに食べられてしまった。トラは母の着物を着て二人をだまそうとしたが、姉と弟は、知恵比べをしながらなんとか逃げ、天にのぼって姉はお日さまに弟はお月さまになった。「赤ずきん」の話を連想させるお話である。

18	ヘンニムとタルニム お日さまとお月さま チョンスクヒャン絵、いとうみを文 鶏林館書店 1978 〈E-チ 32-2〉 * <チョンスクヒャン：V3>
19	お日さま お月さま アンチョンオンえ、チョンインソプぶん、 むらさききょうこやく ほるぷ出版 1982 〈E/ア〉
20	お日さまとお月さまになったきょうだい 沈美娥絵、李圭喜文、仲村修訳 ポリム 1997 89-433-0286-X 〈E/チ 332/301〉
20H	해와 달이 된 오누이 (お日さまとお月さまになったきょうだい) 심미아그림、이규희글 보림 1996 89-433-0256-8 〈HE-S8-1〉

⑥ 粟一粒でよめをもらった若者 (좁쌀 한 톨로 장가든 총각)

貧しくて嫁取りできない男が旅に出て、粟一粒から次々と交換して、ついに大家の娘を嫁にもらう話。日本の「わらしべ長者」を彷彿とさせる。

21	좁쌀 한 톨로 장가든 총각 (粟一粒で結婚したわかもの) 주경호그림、이상교글 보림 1996 89-433-0257-6 〈HE-C15-1〉 * 粘土細工人形絵本。[低]
22	ごま一つぶで... 岩田健三郎絵、水谷章三文 太平出版社 1999 4-8031-3506-1 〈E/イ 2043/601〉 * 「粟」が「ゴマ」に変わっているが同じ話がモチーフである。
23	あわ一つぶでよめをもらったわかもの 이스ヨンえ イミエぶん かみやにじやく 少年写真新聞社 2001 4-87981-215-3 〈E/イ 2142/601〉 * ハングル併記。【文 イミエ (李美愛)：「II 49、50」も執筆】

2 動物やおばけが出てくるおはなし

朝鮮半島の昔話によく出てくる動物には、トラ・ウサギ・カエル・ウシ・イヌなどがある。また独特の空想上の生きものとして「トッケビ」がいる。トッケビとは、一本足で頭に角が一本ついたユーモラスな妖怪で、日本の鬼や天狗、カッパのような存在である。

2 4	은혜 갚은 까치 (恩をかえしたカササギ) 김교만구성 어효선글 어문각 1983 <HE-K41-1> * ある若者が、道でカササギのヒナを助けるために弓矢で大蛇を殺した。すると大蛇の妻がかたきをとろうと、若者を待ち伏せしていた。[中]
2 5	쿤칸산의 트라타이じ 梶山俊夫絵、松谷みよ子文 ほるぷ出版 1991 4-593-59310-7 <E/カ 126/304> * キルリヨンは、父さんの敵討ちのためにトラ退治に向かう。
2 6	토끼의 심판 The rabbit's judgment (兎の裁判) Suzanne Crowder Han, illustrated by Yumi Heo New York Henry Holt and Company 1994 0-8050-2674-6 <FE/H225/1> * 穴に落ちたトラを助けた若者は、恩知らずのトラに食われそうになり、裁判を求める。この章「38」と同じ話。英語・ハングル併記。[中]
2 7	오니의 냥보우 한비ヨン호絵、鄭車俊文 仲村修訳 ポリム 1997 89-433-0282-7 <E/ハ 2062/605> * 正直者はトッケビから金棒を借りて金や銀を出した。ひっくり返した本の反対側からスタートする欲張り者が損をする話と真ん中で一緒の場面になるように、本作りを工夫している。<한비ヨン호 : IV 1 3>
2 7 a	트ッケ비의 냥보우 한비ヨン호絵、チョンチャジュン文、ふじもとともみ訳 平凡社 2003 4-582-83171-0 <E-ハ 2062-601>
2 7 H	도깨비 방방이 (오니의 냥보우 / 트ッケ비의 냥보우) 한병호그림、정차준글 보림 1996 89-433-0252-5 <HE-H7-1> * この本の邦訳はタイトルを変えて上記2種類出ている。
2 8	사윗감 찾아 나선 두더지 (ムコ探しにきたモグラ) 이영원그림、김향금글 보림 1996 89-433-0258-4 <HE-i13-2> * 世界で一番のお婿さんを探してモグラは旅に出た。「鼠の嫁入り」の類話。【이영원 (イヨンウォン) : I 1 0】[低]
2 9	여우누이 (キツネの妹) 박완숙그림、이성실글 보림 1997 89-433-0255-X <HE-P8-2> * 三人の息子を持つ夫婦が、娘がほしくて祈っていると、それを聞いたキツネが娘に生まれ変わった。【박완숙 (パクワンスク) : I 1 7】[中]
3 0	구렁덩덩 새선비 (へビに嫁いだむすめ) 한유민그림、이경혜글 보림 1997 89-433-0268-1 <HE-H9-1>

	<p>* 大きな卵を食べたおばあさんが蛇の子どもを産んだ。その蛇が大きくなって、結婚してみたいと言い出した。【한유민 (ハンユミン) : I 8】。文【이경혜 (イギョンフェ 1960～) : 韓国外国語大学校仏語教育を卒業。「IV36」も執筆。】[中]</p>
3 1	<p>おばけのトッカビと朝鮮人参 村上豊絵、水谷章三作、太平出版社 1999 4-8031-3502-9 〈E/ム 37/313〉 * 朝鮮人参を探しに行った息子は、悪戯者のトッカビにじゃまされる。</p>
3 2	<p>火をぬすむ犬 司修絵、松谷みよ子文 太平出版社 1999 4-8031-3505-3 〈E/ツ3/602〉 * くらやみの国の犬が太陽に火を盗みに行くが失敗ばかり。日食月食の由来譚。この話をモチーフとした創作に「IV11」がある。</p>
3 3	<p>ひきがえるのおんがえし みやもとただお絵、藤かおる文 太平出版社 2000 4-8031-3503-7 〈E/ミ 20/601〉 * 娘が小さなカエルに食べものをやってかわいがると、カエルは大きくなって、娘をオロチから救い出す。</p>
3 4	<p>さびしがりやのトッケビ ハンビョンホ絵、藤本朝己訳 平凡社 2006 4-582-83335-7 〈E/ハ 2062/607〉 * 山奥のトッケビが村に遊びに来ると誰も怖がって逃げ出す。〈ハンビョンホ : IV 1 3〉</p>
3 4 H	<p>꼬꼬댁꼬꼬는 무서워! (さびしがりやのトッケビ) 한병호그림, 도서출판 도깨비 2001 89-89843-00-6 〈HE-H7-6〉</p>
3 5	<p>ねこといぬとたからの玉 梶山俊夫絵、藤かおる文 太平出版社 2001 4-8031-3508-8 〈E/カ126/604〉 * 貧しい爺が川で釣った金の魚を逃がしてやると、お礼に不思議な玉をもらう。この章「39」と同じ話。</p>
3 6	<p>青い竜と黄色い竜 遠山繁年絵、松谷みよ子文 太平出版社 2003 4-8031-3512-6 〈E/ト 80/605〉 * 弓の名人は、青い竜に黄色い竜との戦いの助太刀を頼まれる。</p>
3 7	<p>あまのじゃくなかえる キムドンソン絵、イサンベ文、かみやにじ訳 少年写真新聞社 2005 4-87981-194-7 〈E/キ2052/602〉 * カエルが雨の日に泣く由来譚。日本にも似た昔話が伝わる。「V5」と同じ話。【キムドンソン (金東成 1970～) : 弘益大学校美術部で東洋画を専攻 : III 2、3】</p>
3 8	<p>うさぎのさいばん ハンテヒえ、キムセシルぶん、かみやにじやく 少年写真新聞社 2005 4-87981-192-0 〈E/ハ 2096/601〉 * この章「26」と同じ話。ハングル併記。</p>

39	いぬとねこ シンミンジェ絵、ソジョンオ再話、おおたけきよみ訳 光村教育図書 2007 978-4-89572-666-5 <E/シ 2124/601> * この章「35」と同じ話。
40	しろいまゆげのトラ ペクテスン絵、ジンスク文、星あキラ、キムヨンジョン共訳、 小澤俊夫監修 瑞雲舎 2007 978-4-916016-78-2 <E/ペ 2020/601> * 山奥に住む白いまゆげのトラは、なんでも見通す不思議なトラだった。
41	人食いとらのおんがえし 長野ヒデ子絵、松谷みよ子文 校成出版社 2007 78-4-333-02251-9 <E/ナ87/623> * 口から血を出して苦しんでいた人食いとらを助けた若者は、その後、生涯トラに助けられる。
42	山をはこんだ丸ひきの竜 司修絵、松谷みよ子文 校成出版社 2007 978-4-333-02252-6 <E/ツ3/609> * むかし天の竜が地上に降り、山を切り取って運んでは人々を困らせた。

3 そのほかのおはなし

43	洪吉童 (ホンギルドン) 洪永佑著 朝鮮青年社 1982 <E/コ 8 1 /1> * 17世紀に書かれた古典小説「洪吉童伝」を絵本にしたもの。主人公は、朝鮮半島では誰もが知っている権力者をやっつけるヒーロー。日本で発行されたこの本は、韓国でも翻訳出版されている。洪永佑 (ホンヨンウ 1939~) : 愛知県生まれ。1981年から個展を開催するなど活躍している。
44	竜宮城へいった娘 ホーチョイドン絵、アダムス文、小林孝子訳 蝸牛社 1984 4-905579-82-1 <E-ホ> * 目の見えない父のために、娘は竜王への人身御供になった。
45	天馬とにじのぼち 蔡峻え、梁裕子ぶん 朝鮮青年社 1985 <E/サ151/1> * セピョリは、村の宝のにじのぼちを探しに天馬で山をめざす。
46	단군신화 (檀君神話) 홍성찬그림, 이형구글 보림 1995 89-433-0080-8 <HE-H8-2> * 4千年以上前に朝鮮王朝を開いたという伝説の王檀君 (タンゲン) の神話。この章「57」も同じ話。<홍성찬 (ホンソンチャン) : IV 1 1 > [中]
47	마고할미 (マゴばあさん) 조선경그림, 정근글 보림 1995 89-433-0079-4 <HE-C8-1> * 昔、巨人のおばあさんが天を持ち上げて空を作り、海を作ったという天地創造の物語。仕掛け絵本。[中]
48	五人の小さなごうけつ 李春吉絵、梁載洪文、仲村修訳 ポリム 1997年 89-433-0278-9

	<p><E/リ 339/301> * カメの中から生まれた力持ちの男の子は旅に出て、5人の豪傑と友だちになりトラを退治する。【李春吉：I 7、19】</p>
4 8 H	<p>재주많은 다섯친구 (五人の小さなごうけつ) 이춘길그림, 양재홍글 보림 1996 89-433-0253-3 <HE-i15-4 ></p>
4 9	<p>力持ちのパンチョギ 李億培絵、李美愛文、市場淳子訳 ポリム 1997 89-433-0313-0 <E/イ2040/604> * 体が何もかも半分のパンチョギは力持ち、兄さんたちのひどい仕打ちにも負けず幸せを得る。この章「55」と同じ話。<李億培：IV 1 2 ></p>
4 9 H	<p>반쪽이 (力持ちのパンチョギ) 이억배그림, 이미애글 보림 1997 89-433-0263-0 <HE-i3-1></p>
5 0	<p>七夕のお星さん 柳愛路絵、李美愛文、市場淳子訳 ポリム 1997 89-433-0334-3 <E/ユ 323/301> * 韓国に伝わる牽牛と織女の七夕伝説。<柳愛路：IV 1 0 ></p>
5 0 H	<p>견우직녀 (七夕のお星さん) 이미애글 보림출판사 보림 1997 89-433-0264-9 <HE-Y8-4></p>
5 1	<p>콩쥐 팥쥐 (콩쥐이팥쥐이 : まま子と連れ子) 정대영그림, 정차준글 보림 1997 89-433-0262-2 <HE-C5-4> * 母をなくした콩쥐이 (豆子) が継母にいじめられるが、脱げた靴が合って幸せになる「シンデレラ」の類話。紙人形絵本。[低]</p>
5 2	<p>똥벼락 (うんこの嵐) 조혜란그림, 김희경글 사계절출판사 2001 89-7196-775-7 <HE-C30-1> * 小作人のトルセが石ころだらけの土地を一所懸命たがやし、トッケビに助けられて豊作になる。【조혜란 (チョヘラン) I 20】 [中]</p>
5 3	<p>그림 옷을 입은 집 (絵の服を着た家) 유문조그림, 조은수글 사계절 2002 89-7196-842-7 <HE-Y16-1> * 朝鮮半島の伝統的な建築は、鮮やかな赤・緑・黄・白・黒に塗られている。この「丹青」という伝統的な色使いの由来を語る。[中]</p>
5 4	<p>このよでいちばん大きな男の子 クオンジェリョンえ、キムセシルぶん、かみやにじやく 少年写真新聞社 2005 4-87981-193-9 <E/ク 2077/601> * キルサンは小山ほどの大きな男の子、家にも入れず着物もない。王様に頼んで布をもらい、村人総出で着物を作る。ハングル併記。</p>
5 5	<p>パンチョギ ハンビョンホ絵、ソジョンエ文、かみやにじ訳 少年写真新聞社 2006 4-87981-214-5 <E/ハ 2062/606> * この章「49」と同じ話。ハングル併記。<ハンビョンホ：IV 1 3 ></p>
5 6	<p>石をとらえたお役人 ハンチャンスえ、チャミジョンぶん、かみやにじやく 少年写真新聞社 2006 4-87981-219-6 <E/ハ 2107/601></p>

* 絹泥棒を捕まえるお役人の知恵をユーモラスに語る。ハングル併記。
57 檀君 朝鮮半島の建国神話 チェスッキえ、キムセシルぶん、かみやにじやく 少年写真新聞社 2006 4-87981-218-8 <E/チ331/601> * この章「46」と同じ話。ハングル併記。【チェスッキ：Ⅱ1】
58 七人のふしぎなじいさま 水谷章三文、遠山繁年絵 佼成出版社 2007 978-4-333-02253-3 <E/ト80/607> * 中国の隋に攻められた高句麗を救った不思議なじいさまたちの話。

Ⅲ章 文学作品を絵本にしたもの

1 パンジョンファン (방정환 方定煥 1899～1931)

ソウル生まれ。韓国の児童文学の先駆者。東京に留学していた1923年に、グリムやアンデルセンを翻案した西洋童話集を発行した。また、「オリニ（こども）の日」を創設し、1923年に児童雑誌「オリニ」を創刊した。童話の口演なども行い、現在も歌い継がれている童謡を多数作った。

1 만년샤쓰 (万年シャツ) 김세현그림, 방정환글 길벗어린이 1999 89-86621-49-5 <HE-K50-1> * 舞台は1930年代。上着の下にシャツを着ないで学校にくるチャンナムを、同級生たちは「万年シャツ」とからかう。韓国の教科書にも採用されている。[高]

2 イテジュン (이태준 李泰俊 1904～?)

江原道鉄原生まれ。1930年代に数々の名作を書き朝鮮文学の最高峰といわれている。童話や児童文学も多数執筆し、雑誌にも連載小説を寄稿した。

1946年に北朝鮮に渡ったが、韓国では1988年まで、北に渡った作家の作品の発行や研究が禁止されていた。

2 かあさんまだかな キムドンソン絵、イテジュン文、チョンミへ訳 フレーベル館 2005 4-577-03147-7 <E/キ2052/601> * 停車場でかあさんの帰りを待つぼうや。夕闇が次第に訪れるのに、かあさんはまだ下りてこない。【キムドンソン：Ⅱ37、Ⅲ3】
2H 엄마 마중 (かあさんまだかな) 김동성그림, 이태준글 소년한길 2004 89-356-5712-3 <HE-K49-2>

3 イジュホン (이주홍 李周洪 1906～1987)

慶尚道陝川生れ。1930年代から「新少年」という児童向けハングル雑誌の編集をしながら童話や童謡、少年詩なども書いた。20代には日本で働き、日本のプロレタリア児童文学の人たちとも交流した。解放後は釜山の大学で文学を教え、絵や映画のシナリオも書くなど多彩な分野で活躍した。

3 메아리 (山びこ)

김동성그림 이주홍글 길벗어린이 2001 89-86621-78-9
〈HE-K49-1〉

- * トリの大好きなお姉さんがお嫁に行ってしまう。弟の哀しい思いを情感豊かに描く。韓国の教科書にも採用されている。【김동성 (キムドンソン) : II 37、III 2】 [高]

4 ヒョンドク (현덕 玄徳 1909～?)

ソウル生まれ。李泰俊〈III 2〉同様、朝鮮戦争の時代に北側に行った童話作家。彼が書いた童話と少年小説は40余編あり、1988年に解禁されて以後、韓国の子どもたちに大いに受け入れられた。新しく発掘されて1995年に出版された「玄徳童話集」は、その後40版以上を重ねている。

4 나비를 잡는 아버지 (蝶をつかまえるお父さん)

김환영그림, 현덕글 길벗어린이 2001 89-86621-86-X 〈HE-K62-1〉

- * 小作人の子パウとソウルの中学に行ったキョンファニは、蝶々採りをめぐってケンカした。【김환영 (キムファンヨン) : II 6】 [高]

5 イサン (이상 李箱 1910～1937)

ソウル生まれ。詩・小説・随筆などいろいろな分野で作品を多数残した。1930年代に現ソウルで活躍し、その後日本に渡り、東京で26歳の若さで夭折した。現代の韓国で最も愛読されている作家の一人である。

5 うしとトッケビ

한비ヨンホ絵, 이산文, おおたけきよみ訳 아트론 2004
4-901006-67-3 〈E/ハ 2062/602〉

- * 薪売りのトルセが、傷ついたトッケビに頼まれ、自分の牛の腹にトッケビを入れてやると、牛の力は強くなる。1937年3月「毎日新報」に発表されたが、日本の豊島与志雄の「天下一の馬」の翻案とも指摘されている。〈한비ヨンホ : IV 13〉

5 H 황소와 도깨비 (うしとトッケビ)

한병호그림 이상글 다림 1999 89-87721-18-3 〈HE-H7-4〉

6 ユンソクチュン (윤석중 尹石重 1911～2003)

ソウル生まれ。童謡詩人。13才で童詩を書き始め、生涯に千以上の童詩を作り、今も歌い継がれている多数の童謡がある。主な作品に、「春さがし(ナリ ナリ ケナリ)」「昼に出た半月」「故郷の地」などがある。方定煥<Ⅲ 1>没後、「オリニ(こども)」の編集を引き継いだ。解放後は韓国児童文学運動の再建と発展に寄与し、多くの作品が韓国の教科書に採用されている。

6	よじはんよじはん イヨンギョンえ、ユンソクチュンぶん、かみやにじ訳 福音館書店 2007 978-4-8340-2128-8 <E/イ2018/603> * 幼い女の子ののどかで満ち足りたひと時を描く。<イヨンギョン：Ⅳ 19>
6 H	녁점반 (よじはんよじはん) 이영경그림 윤석중글 창비 2004 89-364-5405-6 <HE-i40-2>
7	낮에 나온 반달 (お昼に出た半月) 김용철그림 윤석중시 창비 2004 89-364-5406-4 <HE-K58-2> * 少年は横たわって懐かしい家族を思い出している。김용철 (キムヨンチョル 1961～) の幻想的な絵が付く。【キムヨンチョル：Ⅲ 13】[中]

7 ペクソク (백석 白石 1912～?)

平安北道生まれ。詩人。日本の青山学院に入学し英文学を専攻した。1936年処女詩集を發行。子どもには散文よりも詩がふさわしいと「童話詩」という形式を作った。朝鮮戦争当時に北へ行った後は消息不明。

8	이っしょにごはんたべよ ユエロ絵、ペク ソク文 피ョン 키ジャ訳 平凡社 2005 4-582-83250-4 <E/ユ 323/601> * 気立てのいいカエルが、兄に米を分けてもらいに行く途中サワガニやいろいろな生き物に会う。1957年に北朝鮮で發行された「はさみむしの4兄弟」にもこの作品は収録されている。<ユエロ：Ⅳ 10>
---	---

8 ファンスンウォン (황순원 黄順元 1915～2000)

平安道大同郡生れ。15歳頃から新聞に詩や童話を投稿した。その後日本に留学し早稲田大学英文科を卒業。はじめは詩を書いていたが、20代の後半から小説を書き始めた。解放後は、南に渡りソウルに住み、1957年から慶熙大学校の教授。韓国文学の発展に寄与し、芸術院賞など各種の大きな賞を受賞している。

9	소나기 (夕立ち) 장요배그림, 황순원글 길벗어린이 1997 89-86621-32-0 <HE-K-1> * 都会から村にやってきた少女に、少年は自然の中での生活を教えてあげた。この作品は1953年に雑誌に発表され、60年代から長く韓国の教科
---	--

書に掲載されていた有名な作品。강요배 (カンヨンベ 1952～) : 済州島生まれ。ソウル大学校美術大学洋画科卒。[高]

9 クオンジョンセン (권정생 権正生 1937～2007)

戦後韓国を代表する童話作家で、子供向けの詩も書いている。東京生まれ。1946年に韓国に帰国したが肺結核で闘病生活を送る。1973年『オンマの白いチョゴリ』により「朝鮮日報」の新春文芸賞受賞、以降作家活動をはじめた。『モンシル姉さん』など沢山の名作を残した。〈画家チョンスンガク : IV 5〉

1 0	こいぬのうんち チョンスンガク絵、ピョンキジャ訳 平凡社 2000 4-582-82948-1 <E/チ 2002/601> * 汚くて役に立たないと悲しんでいたこいぬのうんちは、春になって花のこやしになる。初期に発表した作品で、1969年の第1回キリスト教児童文学賞を受賞。
1 0 H	강아지똥 (こいぬのうんち) 정승각그림 길벗어린이 1996 89-86621-13-4 <HE-C4-3>
1 1	あなぐまさんちのはなばたけ チョンスンガク絵、ピョンキジャ訳 平凡社 2001 4-582-82960-0 <E/チ 2002/602> * つむじ風で町まで飛ばされたあなぐまお婆さんは、学校に咲いていた花にうっとり、自分でも作ろうとする。
1 1 H	오소리네집 꽃밭 (あなぐまさんちのはなばたけ) 정승각그림 길벗어린이 1997 89-86621-33-9 <HE-C4-4>
1 2	黄牛のおくりもの チョンスンガク絵、仲村修訳 いのちのことば社 2003 4-264-02140-5 <E/チ 2002/604> * 牛の残り物を取りにきたねずみは、牛に歓迎されて仲良くなる。
1 2 H	황소 아저씨 (黄牛のおくりもの) 정승각그림 길벗어린이 2001 89-86621-77-0 <HE-C4-2>
1 3	ゆらゆらゆくよ キムヨン Chol絵、金広子訳 小峰書店 2007 978-4-338-12650-2 <E/キ 2072/601> * 山の中に住むおばあさんはおじいさんに、市にいった木綿とお話をひとつとりかえてくるよう頼む。【キムヨン Chol : III 7】
1 3 H	훤훤 간다 (ゆらゆらゆくよ) 김용철그림 국민서관 2003 89-11-02140-7 <HE-K58-1>
1 4	こだぬきさんちのはるむかえ ソンジンホンえ、なかむらおさむやく いのちのことば社フォレストブックス 2005 4-264-02328-9 <E/ソ 2022/601> * 冬眠中、目覚めた子だぬきは外に出るが、雪に驚いて逃げ帰る。 <ソンジンホン : IV 2 7>

10 リヘソン (리헤선 1956～)

中国延辺自治州生まれの移民朝鮮人2世。延辺大学卒業後新聞記者などを勤めたのち作家活動に入る。

15 폭죽소리 (爆竹の音)

이담, 김근희 그림 길벗어린이 1996 89-86621-12-6
<HE-16-1996>

- * 中国の清朝末期の中国の朝鮮族の生活を描いた作品。中国では爆竹を鳴らして正月を祝う。画家の이담 (イダム) と 김근희 (キムグニ) は、ともにイラストレーターでアメリカ在住。イダムはソウル大卒業後アメリカの大学で学ぶ。この作品は、イホベク<IV 2 2>が、作家の住む中国に通って企画・出版した。[高]

IV章 韓国の創作絵本

韓国の創作絵本は、1988年のオリンピック開催の頃から、質的に大きな変化を遂げた。その原動力となったのが、いわゆる「386世代」である。「386世代」とは、60年代生まれで、80年代に大学に通い、90年代半ばに30代だった人たちを指す。彼らは軍事政権の時代に民主化運動を経験し、その後、民衆文化運動や地域運動に関わりながら、画家として、韓国の伝統を表現する創作活動を行った。これを後押ししたのが、外国で学び絵本に触れて帰国した人たちで、彼等の中には、自ら出版社を設立する者も出た。以下に絵本の代表的な出版社等を紹介する。

トンナム (통나무) は、ソウルオリンピックの年に、『山になった巨人』を発行し、新しい絵本の時代を拓いた。また1994年に『くらやみのくにからきたサブサリ』も発行したが、元来、大人の哲学関係を出している出版社であり、下に紹介する申敬淑からの働きかけによるものであった。この2冊以外絵本は出版していない。

ポリム (보림) は、1970年代からある出版社で、1997年には「韓国民話絵本シリーズ」6冊を、英語・仏語・露語・中国語・日本語・韓国語6カ国語版で刊行した【II 1、20、27、48、49、50】。ほかに、伝統科学シリーズを出し、実績のある画家たちを起用して、しっかりした絵を子どもたちに示す端緒を作った。このシリーズには、『배무이 (船造り)』『집짓기 (家造り)』『옷감짜기 (はたおり)』『씨실날실 (よこ糸たて糸)』などがある。

ポリ (보리) は、1991年に設立。伝統農村社会を見直し、環境と人間の共生を目指すものを出版、韓国の四季シリーズ【IV32～35】などを出している。

チョバン (초방책방) は、1990年に韓国で初めての児童書専門書店として出発した。創設者の申敬淑(1960～)は、日米の絵本をよく研究、韓国の伝統を生かした本作りを企画した。KBBYの会長や、2005年ボローニャ国際絵本展の審査員も務め、韓国絵本の発展に大きく寄与した。現在は書店は縮小し出版を主としている。

チェミマジュ (재미마주) は、1994年に、イホベク<IV 2 2>が作った出版社で、民画絵本シリーズの「토끼의소원 (兎の願い)」などを出版している。

キルボオリニ (길벗어린이) は、1995年創立とともに、『マンヒのいえ』『ソリちゃんのチュソク』を発行。ほかに、「私が初めて会った芸術家」シリーズで、画家

『김홍도 (金弘道)』『이중섭 (李仲燮)』など伝統的な画家の作風を解説する絵本を発行している。

2002年、サッカーのワールドカップの開催以降、さらに絵本で描く範囲は広がりを見せ、現代社会の問題や子どもたちの今の生活を描く新しい表現がでてきている。

* この章の配列は、原著の出版年が早い作品の画家順とした。

1 イウギョン (이우경 李友慶 1922~1998)

解放前から活躍している画家。ソウル生まれ。中学時代にすでに大きな展覧会で受賞した。朝鮮美術展覧会に1941年から3年連続入賞。また1950年代から新聞小説の挿絵画家として活躍。一方、児童向け偉人伝・創作集などに挿絵を描いた。

飄々とした独特の画風。日本語版は出されていない。1997年韓国子供図書賞受賞。

1 당나귀알 (ロバの卵)

어효선글 교학사 1988 <HE-i12-1>

* 山の中に住む世間知らずが市場に出かけ、ロバの卵だと買わされたものは? [低]

2 씨름하는 쥐 (鼠の相撲)

국민서관 c1992 89-11-00306-9 <HE-i12-2>

* 日本の「鼠の相撲」の昔話絵本。[低]

2 칸우ヒョン (강우현 康禹鉉 1953~)

IBBY(国際児童図書評議会)韓国支部長、韓国出版美術協会会長などを歴任。弘益大学美術学部でグラフィックデザインを専攻。1985年ユネスコアジア文化主催の出版デザインコースに参加。1979年韓国ベストイラストレーターズメダル受賞。

3 사바くのきょうりゅう

田島伸二文 講談社 1988 4-06-131858-6 <E/カ372/502>

* 砂漠を旅する商人たちが分け前をめぐる殺し合いを始めると、その下で眠っていた恐竜が起きた。1987年第5回野間絵本原画コンクール大賞、89年講談社出版文化賞絵本賞、1989年プラチスラバ国際絵本原画展金牌などを受賞。

4 ゆきやま

田島伸二文 講談社 1988 4-06-131871-3 <E/カ372/503>

* 厳しい自然で生きぬくサルたちの勇気を描く。

5 랑랑, 한빛탑에 오르다 (ランラン ハンビツ塔に上る)

보림 1994 89-433-0061-1 <HE-K23-1>

* ランランたち仲良しパンダ3人組が、公園で鏡の光を反射させて、ランランを塔のてっぺんに上らせる。[低]

3 류ウチェス (류재수 柳在守 1954~)

日本で一番早い時期に紹介された画家。弘益美術大学卒業。1987年第5回野間絵本

原画コンクールで佳作賞受賞。「キーツ論」など絵本に関する論文も多数発表している。【Ⅱ16】

6	山になった巨人 白頭山ものがたり イサンクム・まつただし訳 福音館書店 1990 4-8340-1013-9 <E/リ304/301>
	* 白頭山は中国と北朝鮮の国境にある山。その山をめぐる創世神話をアクリルボードに力強く描いた作品。訳者のイサンクムは日本生まれの児童文学者。代表作に『半分のふるさと 私が日本にいたときのこと』がある。
6 H	백두산 이야기 (山になった巨人 白頭山ものがたり) 통나무 1988 89-8264-053-3 <HE-R6-2>
7	눈사람이 된 풍선 (雪だるまになった風船) 보림 1994 89-433-0063-8 <HE-R6-1 >
	* 女の子が風船で遊んでいて手を離してしまった。風船はどんどん飛んで、雲や星と出会う。文字なし絵本。[低]

4 イヘリ (이혜리 李恵利 1961～)

弘益美術大学で視覚デザインを専攻。1986年に初めて個展を開き、新聞・雑誌などにイラストを発表した。明るくユーモアのあるタッチが特徴。

8	이게 뭐지 알아맞혀 볼래? (これって何か知ってる?) 박완서글 미세기 1990 89-7687-246-0 <HE-i21-1>
	* ハンガニが、街でおばあさんからもらった緑色の物。これは一体なんだろう? ゴム粘土じゃないし、食べ物かな? [中]
9	우리 몸의 구멍 (からだの穴) 허은미글 돌베개어린이 2000 89-950669-4-6 <HE-i21-2>
	* 鼻、耳、口などの体の穴のあちこちをユーモラスな絵で説明する。[低]
10	아메가ふるひに・・・ ピョンキジャ訳 くもん出版 2005 4-7743-1036-0 <E/イ2126/601>
	* 雨の日に動物たちは何をしているのだろうか? 少女はいろいろな想像をする。
10 H	비가 오는 날에・・・ (あめがふるひに・・・) 보림 2001 89-433-0442-0 <HE-i21-3>

5 チョンスンガク (정승각 鄭昇珏 1961～)

韓国の新しい世代の代表的な絵本作家の一人。忠清北道生まれ。中央大学校西洋画科卒。韓国古来の絵画のもつ美しさを取り入れた絵本作りに力を注いでいる。文学を絵本にした作品が多い。『だまされたトッケビ 韓国の昔話』(福音館書店 1999)の表紙や挿絵も描いている。【Ⅲ10、11、12】

1 1 くらやみのくにからきたサブサリ

おおたけきよみ訳 アートン 2004 4-901006-74-6
<E/チ 2002/603>

- * 暗闇の国から火を取りに太陽と月に行った犬の勇壮なお話。サブサリとはむく犬のこと。アクリルボードに張り込んだ重量感のある絵はダイナミックである。この話のモチーフとなった昔話は「II 3 2」。

1 1 H 까막나라에서 온 삽사리 (くらやみのくにからきたサブサリ)

통나무 1994 <HE-C4-1>

6 パクソンワン (박성완 1960~)

ソウル大学卒。1992年韓国子供図書賞受賞。1995年より建国大学教授。絵本の他、キャラクターデザイン、シンボルデザインなど様々な分野で活躍している。「みにくいアヒルの子」で第8回野間原画コンクールグランプリ受賞、1999年ブック・アート・マルティン・ビエンナーレ (スロバキア) 奨励賞を受賞し、国内外で個展・グループ展をたびたび開催している。線を生かしたユーモラスな画風が特徴的。【II 1 5】

1 2 솔이와 쾡쾡이 (ソリとコンコンギ)

보림 1994 89-433-0044-1 <HE-P10-1>

- * お母さんが出かけてソリは一人でネコとお留守番。そこに狼のコンコンギがやってきた。[低]

1 3 하늘 열리고 땅 열리다 (空が開き、地も開く)

이수자글 보림 1995 89-433-0078-6 <HE-P10-2>

- * 大きな洪水に襲われて生き残ったのは、兄と妹だけだった。韓国版の天地開闢物語。[中]

7 イソンビョ (이성표)

弘益大学校視覚デザイン学科卒。中央日報社美術記者を経て、弘益大講師。雑誌表紙のデザインや博物館の壁画など多彩に活躍するイラストレーター。

1 4 그림자 길을 따라 갔어요 (影の道をたどっていった)

보림 1994 89-433-0062-X <HE-i14-1>

- * 僕の後ろにできたながーい影。影はあそこにもここにも。[低]

8 チョンヨンガン (정용앙)

弘益大学校美術大学卒業後、ドイツの芸術大学で勉強。出版美術協会公募展で受賞。

1 5 나무옷을 입은 염소 (木の服をきたヤギ)

보림 1994 89-433-0066-2 <HE-C9-1>

- * ヤギの世話している少年は、ヤギが暴れて家をこわすので、おばけにそそのかされて、ヤギに木の服を着せた。[中]

9 パクスンボ (박순보)

弘益大学校美術大学、産業美術大学院を卒業後、ドイツの国費留学生としてケルン大学心理学科で芸術心理を専攻。弘益大学校造形大学教授。造形学会や視覚コミュニケーションなどの分野で活躍。

16 이레와 크레용 (イレとクレヨン)

보림 1994 89-433-0065-4 <HE-P11-1>

- * イレはお姉さんのカバンの中でクレヨンに出会う。クレヨンと一緒に赤、黄・・・と七色の部屋をたずねる。仕掛け絵本。[幼]

10 유애로 (柳愛路 1955～)

淑明女子大学校でグラフィックデザインを学ぶ。1986年「トッケビの恩返し」の出版を機に本格的に絵本画家として出発した。第5回子供文化大賞受賞。【Ⅱ50、Ⅲ8】

17 갯벌이 좋아요 (干潟がすき)

보림 1995 89-433-0084-0 <HE-Y8-2>

- * 干潟にはいろいろな動物がいる。カニの眼からみた干潟や海のなかの生きものたち。[低]

18 쪽빛을 찾아서 (藍色をもとめて)

보림 1996 89-433-0105-7 <HE-Y8-3>

- * 生地を美しく染める染物屋は、空の色、海の色のような青に染めたいと努力を重ねた。[中]

11 홍성찬 (洪性鑽 1929～)

ソウル生まれ。解放前から画家として活躍していた重鎮の一人。独学でイラストを学び、新聞・雑誌の小説の挿絵を描いていた。解放後も挿絵画家としてたくさんの作品を残している。絵本は1990年代から書き始め、1992年児童文化大賞美術部門受賞。

【Ⅱ46】

19 집짓기 (家造り)

홍성찬그림, 강영환글 보림 1996 89-433-0214-2 <H522-1-96>

- * 先史時代から現代までの韓国建築文化の変遷史を描き、第17回韓国児童図書賞を受賞した。[高]

20 땅속나라 도둑괴물 (地底の国の盗っ人)

조대인글 보림 1996 89-433-0254-1 <HE-H8-1>

- * 結婚式で鬼に花嫁をさらわれた男が、鬼を追って地底の鬼の国へ行った。[中]

21 牛になった寝太郎

田島伸二文監修 汐文社 1999 4-8113-7141-0 <E/ホ 2004/601>

* 怠け者の寝太郎は、のんびり暮らしている牛がうらやましくて、服を交換して牛になる。

2 2 なかよしむら

うめさわかよこ訳 新世研 2001 4-88012-103-7 <E/ホ 2004/602>

* 平和で幸せな村の話聞いた竜王は、証拠としてその村人とつれてくるように命令する。中国朝鮮族の民話。原著『재미네글』: 1999

1 2 イオクベ (이억배 李億培 1960~)

京畿道生まれ。弘益大学校彫塑科卒。60年代生れの代表的画家の一人。大学時代を民主化運動の中で送る。卒業後工場都市安養で、クォンユンドク等と市民美術学校や労働者版画講習会など文化芸術運動を行った。1998年子供文化大賞受賞。韓紙に韓国画の顔料と筆を使い、民画などの古典絵画の伝統を現代に生かした作風。【I 5、II 49】

2 3 せかいいちつよいおんどり

イホベク文、おかだゆりこ訳 新世研 2001 4-88012-073-1
<E/イ 2040/602>

* 元気なひよこは、大きくなって世界一強いオンドリになった。1997年ブラチスラバイラレーションビエンナーレで入選。1999年ボローニャ児童図書展で特別部門優秀図書に選定。文章<イホベク: IV 2 2>
日本語版は、文章と絵が一部ずれているので、注意を要する。

2 3 H 세상에서 제일 힘센 수탉 (せかいいちつよいおんどり)

이호백글 재미마주 1997 89-86565-04-8 <HE-i39-3>

2 4 蚊とうし

ヒョンドンヨム文、おおたけきよみ訳 アートン 2004
4-901006-77-0 <E/イ 2040/603>

* 牛をからかって血を吸った蚊はついに牛の尻尾でたたかれた。この作品は、プロレタリア作家ヒョンドンヨム(玄東炎)が、解放後復刊された児童雑誌『オリニ』の1949年5月号に発表した。

2 4 H 모기와 황소 (蚊とうし)

현동영글 길벗어린이 2003 89-5582-004-6 <HE-i39-2>

1 3 ハンビョンホ (한병호 韓炳浩 1962~)

ソウル生まれ。60年代生まれの代表的画家の一人。チュゲ芸術大学校東洋学科卒。第6回子供文化大賞を受賞。黒い背景が特徴的で、昔話やトッケビを題材にした銅版画による作品が多い。【II 27、34、55、III 5】

2 5 북타러 간 사람(福を求めて行った人)

정해왕글 보림 1997 89-433-0274-6 <HE-H7-2>

* 働いても働いても貧しい男が、どうしてそうなのか知るために、西天西域国に旅立った。[中]

26	へちとかいぶつ チョンハソプ文、おおたけきよみ訳 アートン 2004 4-901006-73-8 <E/ハ 2062/603> * 「へち」とは太陽を守る正義の神獣のこと。へちと妖怪4兄弟との戦いを描く。
26H	해치와 괴물 사형제 (へちとかいぶつ) 정하섭글 길벗어린이 1998 89-86621-42-8 <HE-H7-3>
27	토끼와 늑대와 호랑이와 담이와 (兎とオオカミと虎とタミちゃんと) 채인선글 시공주니어 2000 89-527-0906-3 <HE-H7-5> * 狼を怖がる兎、虎を怖がる狼、狩人を怖がる虎が、森の中でタミちゃんと会い楽しく遊ぶ。[低]
28	파파といっしょに 이산クオン文、おおたけきよみ訳 アートン 2004 4-901006-84-3 <E/ハ 2062/604> * 女の子がパパと遊びながら秋の山に登る。
28H	산에 가자 (파파といっしょに) 이상권글 보림출판사 2003 89-433-0518-4 <HE-H7-8 >
29	야광귀신 (夜光鬼神) 이춘희글 언어세상 2004 89-5585-375-0 <HE-H7-7> * 夜光鬼神とは、人間の家にこっそり入って履物を盗む鬼。履物には福があるからだという。文を書いた이춘희 (イジョンヒ) は「IV52」の文章も書いた。彼女は、母や祖母に昔話をよく聞いて育ったという。[中]

14 クォンユンドク (권윤덕 権倫徳 1960～)

京畿道烏山生まれ。弘益大学校大学院で広告デザインを専攻。その後イオクベ等と安養地域美術文化運動団体で市民美術学校を運営。1993年から絵本作りに取り組み、1995年から原画展や絵本展に作品を出品している。1998～99年北京で山水画や工筆画を学ぶ。この人の第1作(1996年):【I3】

30	しろいはうさぎ チョンミへ訳 福音館書店 2007 978-4-8340-2220-9 <E/ク 416/601> * 「うさぎはとぶよ とぶのはからず」と続くしりとり歌。シリドンドン、コミドンドンという歌に合わせて、済州島の風物が描かれる。
30H	시리동동 거미동동 제주도꼬리따기노래 (しろいはうさぎ) 권윤덕그림 창비 2003 89-364-5403-x <HE-K22-2>

15 イムジョンガ (임정아)

梨花女子大学産業美術大学院卒。

3 1 쌀 한톨 한톨 (お米一つぶ一つぶ)

보림 1996 89-433-0082-4 <HE-i19-1>

* 農村の風景と米を作る過程を描く。楽しそうな子どもたちの様子が印象的である。[中]

1 6 イテス (이태수 1960~)

ソウルで生まれ、京畿道の田舎で育った。弘益大学校洋画科卒。道端に咲いた草一株、蟻一匹を愛情のこもった目で観察して細密画を描く。

文章を書いたユンクビョンは、哲学者で農民運動家でもある。

3 2 つまんなくってさ

ユンクビョン文、小倉紀蔵、黛まどか訳 平凡社 2003

4-582-83163-X <E/イ 2100/601>

* 夏のある日留守番に飽きたトルが、ブタやヤギを放して大騒ぎになる。

3 2 H 심심해서 그랬어 (つまんなくってさ)

윤구병글 보리 1997 89-85494-65-1 <HE-i20-1-2>

3 3 さいごにのこるの、だあれだ

ユンクビョン文、小倉紀蔵、黛まどか訳 平凡社 2003

4-582-83183-4 <E/イ 2100/604>

* 冬、動物たちがカモシカおじさんのいる高い山を目指すが、途中で次々と抜けていく。

3 3 H 우리끼리 가자 (さいごにのこるの、だあれだ)

윤구병글 보리 1997 89-85494-57-0 <HE-i20-1>

3 4 スニちゃん、どこゆくの

ユンクビョン文、小倉紀蔵、黛まどか訳 平凡社 2003

4-582-83162-1 <E/イ 2100/602>

* スニちゃんが春の畑へお茶を届けに行くと動物が話しかけてくる。

3 4 H 우리 순이 어디가니 (スニちゃん、どこゆくの)

윤구병글 보리 1999 89-8428-012-7 <HE-i20-1-1>

3 5 おおいそがし、こいそがし

ユンクビョン文、小倉紀蔵、黛まどか訳 平凡社 2003

4-582-83182-6 <E/イ 2100/603>

* 秋の収穫と冬の準備に追われる一家を暖かく描く。

3 5 H 바빠요 바빠 (おおいそがし、こいそがし)

윤구병글 보리 2000 89-8428-057-7 <HE-i20-1-3>

1 7 シンカヨン (신가영 1962~)

ソウル生まれ。梨花女子大学で洋画を専攻。

3 6 이래서 그렇대요! (そうなんだってさ!)

신가영그림, 이경혜글 보림 1997 89-433-0267-3 <HE-S9-1>

* イワシやカレイやナマズがなぜ今の顔になったのかの由来譚。動物た

ちの表情がコミカルに描かれている。文【이경혜 (イギョンフエ) : II 30】
[中]

18 ハンジヒ (한지희 1960～)

ソウル生まれ。弘益大学校で西洋画を専攻。【I 27】

37 イングンニムのみみ

ソジョンオ文、大竹聖美訳 古今社 2001 4-907689-18-7
<E/ハ 2042/601>

* イングンニムとは王様のこと。お母さんが遊びたがっている男の子に昔話を話す。「王様の耳はロバの耳」の類話。原著『임금님 귀는 당나귀귀』発行：1997

19 イヨンギョン (이영경 李吟庚 1966～)

慶尚南道大邱生まれ。4歳から3年間秋田県で過ごす。1989年ソウル大学校東洋学科卒。【III 6】

38 あかてぬぐいのおくさんと7にんのなかま

かみやにじ訳 福音館書店 1999 4-8340-1633-1
<E/イ 2018/601>

* お針の上手な奥さんと、はさみや縫い針など七人の道具たちの物語。韓国の古い随筆を元に創作された。

38 H 아씨방 일곱 동무 (あかてぬぐいのおくさんと7にんのなかま)

비룡소 1998 89-491-0020-7 <HE-i40-1>

39 ふしぎなかけじく

おおたけきよみ訳 アートン 2004 4-901006-69-X
<E/イ 2018/602>

* 貧しい男の子は、道士から不思議な掛け軸をもらう。韓国の古典小説を元に創作された。

39 H 신기한 그림축자 (ふしぎなかけじく)

비룡소 2002 89-491-0030-4 <HE-i40-3>

20 クォンヒョクト (권혁도 1955～)

慶尚北道生まれ。農村で育ち、子どもの頃から絵を好んで描く。大学では東洋画を専攻。植物や昆虫の細密画を得意とする。

40 だれかな、だれだろ

クォンヒョクト絵、シム チョウオン文、小倉夏香訳 平凡社 2003
4-582-83193-1 <E/ク 2057/601>

* 幼児向けの動物絵本。写実的で暖かい絵が秀逸である。2005年ボローニャ国際絵本原画展で入選した。

40H 누구야 누구 (だれかな、だれだろ)
권혁도그림, 심조원글 심조원글 보림 1998
89-85494-85-6 <HE-K59-1>

21 キムウISK (김의숙)

1984年に弘益大学校工芸科視覚デザイン学科を卒業し、イタリアミラノ国立芸術アカデミーで学ぶ。その後、弘益大学校造形大学で講師。

41 네모의 북 (ネモ君の太鼓)
길벗어린이 1998 89-86621-43-6 <HE-K46-1>
* 何でも叩くのが好きなネモ君に、パパは小さな太鼓を買ってくれた。
[低]

22 イホベク (이호백 李鎬伯 1962~)

ソウル生まれ。ソウル大学応用美術学科卒。1989~93年フランスに在住。1994年ソウルに絵本の企画会社チェミマジュを設立。1996年にはチェミマジュを出版社とし、たくさんの優れた絵本を発行している。「IV23」はこの人の文章。

41 도시로 간 꼬마 하마 (町に行ったカバの子くん)
재미마주 1999 89-86565-23-4 <HE-i37-1>
* かばの村の運動会では口の大きさを競争し、優勝者したカバの子くんは、町へ行くことになった。[中]

42 うさぎのおるすばん
黒田福美訳 平凡社 2003 4-582-83179-6
<E/I 2048/602>
* 家の人が留守の間、うさぎは家に入りこんで、ご飯を食べたり、おもちゃで遊んだり楽しく過ごす。2000年ニューヨークタイムズ優秀絵本。

42H 도대체 그 동안 무슨
일이 일어났을까? (うさぎのおるすばん)
재미마주 2000 89-86565-33-1 <HE-i37-2>

23 チャジョンイン (차정인 1960~)

全羅南道で生まれ、その後ソウルで育つ。梨花女子大学生生活美術科と大学院を卒業。イギリスで視覚デザインを勉強した。

44 나 너 좋아해 (ぼくはきみが好き)
차정인그림, 신순재글 돌베개어린이 2001 89-950669-9-7
<HE-C33-1>

* 恋に落ちたカエルが、その気持ちをどう伝えるべきか悩む。ミソサザイやカワセミが愛の伝え方を教える。[低]

24 キムドンス (김동수 金東受)

同徳女子大学校で絵画を専攻。2001年韓国出版美術大賞を受けた。

45 かぜひいちゃった日

キムドンス作 ピョンキジャ訳 岩崎書店 2004 4-265-06812-X
<E-キ 2046-601>

* 女の子とアヒルの不思議な交流をユーモラスに描く。2002年ポリム創作絵本公募展の優秀賞を受賞。ハングル併記。

25 イガンイク (이광익 1969～)

ソウル生まれ。大学で視覚デザインを専攻。

46 용감한 꼬마생쥐 (勇敢な子ネズミ)

이광익그림 김서정글 보림 2003 89-433-0520-6 <HE-i43-1>

* 七人兄弟の末っ子のちびちゃんは弱虫だった。けれども、お母さんが困った時、一番勇気を出して助けたのはちびちゃんだった。[中]

26 キムシヨン (김시영 1966～)

全羅南道生まれ。高校を卒業するまで、農作業を手伝いながら育った。

47 뿌웅～보리망귀 (麦のおなら)

김시영그림 보림 2003 89-8428-174-3 <HE-K56-1>

* 麦畑で遊ぶ子どもたちと、働く大人たちの四季を描く。[中]

27 ソンジンホン (송진헌 宋珍憲 1962～)

全羅北道生まれ。弘益大学校で洋画を勉強し、1987年から子どもの本への挿し絵を描き始めた。淡い色調に穏やかな絵が特徴。金重美著「ねこぐち村のこどもたち」(廣済堂出版 2002)にも挿し絵を描いている。【Ⅲ14】

48 뽀비이야기 (ピビの物語)

송진헌글그림 창비 2003 89-364-5402-1 <HE-S22-1>

* 近所の男の子ピビと過ごした幼い日々を私が語る。モノクロの印象深い絵。[中]

28 シンドンジュン (신동준 1968～)

ソウル生まれ。成均館大学仏文学科卒。

49 지하철은 달려온다 (地下鉄は走ってくる)

신동준글그림 초방 2003 89-90614-18-X <HE-S23-1>

* ソウルの地下鉄を題材にしたデザイン性高い絵本。2004年ボローニャ絵本原画展で、ノンフィクション部門ラガッツィ賞受賞。英文併記。[低]

29 펍히나 (백희나 1971~)

ソウル生まれ。梨花女子大で教育工学を学び、後渡米してアニメーションを学ぶ。

50ふわふわくもパン

펍히나文と絵、김미현写真、星あキラ・김영준共訳
小学館 2006 4-09-727805-3 <E-ぺ2016-601>

* 雲を材料にパンを焼き、それを食べると不思議なことがおきた。半立体作品を写真にした絵本。2005年ボローニャ国際絵本原画展入選。

50H 구름빵 (ふわふわくもパン)

백희나글그림, 김향수빛그림 한솔수북 2004
89-535-2705-8 <HE-P27-1>

30 이종미 (이종미 李鍾美 1965~)

忠清南道生まれ。梨花女大衣類織物学科と中央大洋画科を卒業し、イタリアでイラストを学んだ。

51 일년에 아홉 마리, 어흥어흥 (一年に9匹オフンオフン)

캐시 스페놀리 이야기, 송영숙재화, 이종미그림 책고리 2004
89-88071-07-7 <HE-i45-1>

* 子供がいないトラが天に祈ると、「トラは一年に9匹ずつ子を生める」と告げられ、はなうたを歌いながら帰って来た。ラオスの昔話の再話。再話者の宋永淑(1947~)は、梨花女子大生涯教育院主任講師、ソウル読書教育研究会会長等子どものための読書活動を展開している。[中]

31 윤정주 (윤정주 1971~)

ソウル生まれ。弘益大学校会話科卒。1998年韓国出版美術大展で奨励賞受賞。

52 아카시아 파마 (アカシアのパーマ)

윤정주그림, 이춘희글 언어세상 2005 89-5585-944-9
<HE-Y17-1>

* 大人のまねをして火バシを使わなくとも、アカシアの葉と茎を使えば、ほらパーマができる。子どもの遊びを楽しく描く。文【이춘희 (イジョ

ンヒ) : 「IV29」も執筆】 [中]

3 2 チョンスニ (정순희 1966～)

慶尚北道生まれ。梨花女子大学東洋画科卒。高校教師をしながら子供の絵本を作っている。娘をモデルにした絵本もあり。1998年デザインハウス主催の「今年のデザイン賞 グラフィック部門を受賞。【I 2 6】

5 3 누구야? (だれかな?)

정순희 그림과 글 창비 2005 89-364-5407-2 <HE-C35-1>

* 布や糸を素材にした絵本。隠れている動物が次のページで顔を出す。その動物を当てて楽しむ。[幼]

3 3 インガン (인강 1971～)

ソウル生まれ。金属工芸を学び、金属工芸作家として活動。

5 4 길로 길로 가다가 : (道をどンドン行くとー)

인강 그림, 전래동요 창비 2005 89-364-5408-0 <HE-i48-1>

* 夜中の12時になると机で作った舞台に、鼻ひげに中折れ帽子のおじさんが登場する。昔から歌われている童謡と合体した人形写真絵本。[低]

3 4 キムビョンホ (김병호 1969～)

全羅北道益山生まれ。弘益大学校視覚デザイン学科卒。

5 5 うんちのちから

김병호 에, 하우스미ぶん, しんもとかやく 主婦の友社
2006 4-07-251854-9 <481/5054/2006>

* うんちが、生き物の生態をいろいろ教えてくれる。

3 5 キムジェホン (1958～)

京畿道生まれ。弘益大学で学ぶ。

5 6 ヨンイのビニールがさ

김제홍 絵, 언드ンジ에 作, 피온키자 訳
岩崎書店 2006 4-265-06814-6 <E-キ 2065-601>

* 雨の朝、外で寝ている物乞いの老人に少女は傘をさしかける。 언드ンジ에 (1958～) が 1980 年に発表した詩を絵本にした。

57 かわべのトンイとスニ

キムジェホン作、星あキラ・キムスヨン共訳 小学館 2007
978-4-09-726205-3 <E/キ2065/602>

* お母さんを迎えに川べりを歩く兄妹。岩の隠し絵探しが楽しい。

36 キムヨンジン

58 べんきょうなんてやるもんか!

キムヨンジン絵、イジェウオン作、チョンミへ訳 フレーベル館
2007 978-4-577-03459-0 <E/キ2069/601>

* 勉強なんか大嫌い、男の子は大暴れしているいろんなものをこわした。

V章 日本で発行された絵本

日本で発行された朝鮮半島を描いた絵本の多くは、1980年代までは、主に在日韓国・朝鮮人の子どもたち向けに民族出版社から発行されていた。ソウルオリンピック前後から福音館書店・岩崎書店・太平出版社など児童書の出版社も発行するようになった。その多くは昔話絵本であり、II章に掲載した。

この章では、日本に住む朝鮮半島を出自とする作家の作品を、発行年順に紹介する。

1 オビョンハク (오병학 吳炳学 1924～)

平安南道生まれ。1942年来日。1948年東京芸術大学中退。1968年から東京・大阪・名古屋などで個展を開く。

1 トケビにかったバウイ 朝鮮民話

きむやんき再話 福音館書店 1974 <こどものとも 225号>

* 相撲大会で優勝したバウイはトケビに相撲を挑まれる。

2 パクミニ (박민익 朴民宜 1947～)

東京生まれ。朝鮮大学校美術科卒。1970～77年民族学校に勤務。雑誌や本の挿絵画家として活躍。

2 さんねん峠 朝鮮のむかしばなし

李錦玉文 朝鮮青年社 1981 <E/ボ26/2>

* 転ぶと3年しか生きられないというさんねん峠で転んでしまい、おじいさんは家に帰っておいおい泣いた。

3 へらない稲たば 朝鮮のむかしばなし

李錦玉文 岩崎書店 1985 4-265-91109-9 <E/ボ26/1>

* 仲良く育った二人の兄弟の愛情を素朴な明るい絵で描く。

4 りんごのおくりもの

李錦玉文 朝鮮青年社 1987 <E/ボ26/501>

* 美しい娘プニィにあこがれた地主と大金持ちとお百姓のトルセの3人の若者の嫁取り合戦。

5 あおがえる 청개구리

李錦玉文 朝鮮青年社 1991 <E/ボ 26/301>

* カエルが雨の日に泣く由来譚。この本も最近韓国で翻訳出版されている。「II 37」と同じ話。

3 チョンスクヒャン (정숙향 鄭淑香 1944～)

全羅南道生まれ。1968年弘益大学東洋画科卒。1973年京都府立芸術大学日本画科留学。1986年に祇園祭山鉾「八幡山」の水引原画を作成。【II 9、11、18】

6 おばけのトッケビ 韓国・朝鮮の昔話

金森襄作再話 福音館書店 1992 <こどものとも 437号>

* 墓のそばで寝た若者は、トッケビに死んだ爺さんと間違えられた。

7 あそびトラ

金森襄作再話 福音館書店 1998 <こどものとも 年少版 259号>

* トラたちが駒、綱引きなど伝承遊びを楽しく繰り広げる。

8 こかげにごろり 韓国・朝鮮の昔話

金森襄作再話 福音館書店 2002 <こどものとも 560号>

* 欲張りの地主はお百姓が木かげで休むことを許さない。そこでお百姓たちが木かげを買い取った。

4 カクチョンヤン (곽충양 郭充良 1955～)

大阪生まれ。立命館大学卒業。新聞記者を経て広告代理店を設立。イベント制作や音楽企画・制作業、広告代理店、出版社、映画制作から映画館まで手がける「アートの韓国をはじめとしたアジアの絵本を出版。2005年に、韓国の情報雑誌『スッカラ』を創刊。

9 赤いくつ

はらみちをえ、郭充良ぶん 子ども書房 1992

4-7952-3733-6 <E/ハ 38/302>

* 少女スニの歌声は風のように美しく、どんな喧嘩も仲直りさせる力をもっていた。

5 キムジョンエ (김정애 金正愛 1959～)

東京生まれ。出版社に勤務しながら絵本を出版する。【II 13】

10 ぼくはぼうけんいちねんせい

金錦汝文 岩崎書店 1995 4-88522-020-3 <E/キ 125/301>

* 電車に乗って民族学校に通う一年生のユンソギの通学路を描く。

- 1 1 仙女ときこり 朝鮮のむかしばなし
 神谷丹路文 朝鮮青年社 2002 4-265-03479-9 <E/キ 125/601>
 * 貧しい樵が鹿を助けて、そのお礼に天女をお嫁さんにする。羽衣伝説の類話。

6 カンヒョミ (강효미 姜孝美 1967～)

兵庫県生まれ。フリーのイラストレーターとして活躍。

- 1 2 たんぽぽのはらで
 李友子ぶん 朝鮮青年社 1999 4-88522-048-3 <E/カ 496/301>
 * おじいさんと出かけた野原で、ちいくんはたんぽぽくんと会った。

<参考文献>

- 「オリエントの世界から 韓国絵本原画展図録」メディアリンクス・ジャパン編 (国際交流基金アジアセンター 2000)
- 「みんなで元気に生きよう 多文化サービスのためのブックリスト137」日本図書館協会編 (2002)
- 「論文集 韓国の絵本 韓国と日本の絵本 シンポジウム報告集」大阪国際児童文学館編 (2006)
- 「朝鮮のある児童文学風景」韓丘庸編 (あまのはしだて出版 1999)
- 「児童文学と朝鮮」仲村修ほか著 神戸学生青年センター出版部編 (1989)
- 「日本がでてくる韓国童話集」魚孝善ほか著 仲村修編訳 オリエント翻訳会編訳 (素人社 1999.8)
- 「愛の韓国童話集」李周洪ほか著 仲村修編 オリエントほんやく会訳 (素人社 2001.4)
- 「あとな」1,2,10,11号 すてきな韓国の絵本等 大竹聖美著 (アートン 2004.12～2005.10)
- 「月刊 イオ」2007年10月号 特集オリエントの本を旅する
- 「ブックエンド」3号 特集：韓国絵本が熱い! (絵本学会 2005年6月)

<書名索引>

* ハングル絵本の索引は省略した。

青い竜と黄色い竜	II 36	あなぐまさんちのはなばたけ	III 11
あおがえる	V 5	あまのじゃくなかえる	II 37
あかいきしゃ	I 18	あめがふるひに・・	IV 10
赤いくつ	V 9	あわ一つぶでよめをもらった若者	II ⑥
あかてぬぐいのおくさんと 7 にんのなかま	IV 38	石をとらえたお役人	II 56
あずきがゆばあさんとトラ	II ①	いっしょにごはんたべよ	III 8
あそびトラ	V 7	いぬとねこ	II 39
		インゲンニムのみみ	IV 37
		うさぎのおるすばん	IV 42
		うさぎのさいばん	II 38
		うしとトッケビ	III 5

牛になった寝太郎	IV21	チャジャン歌	I 27
うんちのちから	IV55	つばめがはこんだ南のたね	II 14
おおいそがし、こいそがし	IV35	つまなくってさ	IV32
おどりトラ	II 9	天馬とにじのぼち	II 45
おどりのすきなとら	II ③	トケビにかったバウイ	V 1
おにのかなぼう	II 27	トッケビのこんぼう	II 27a
おぼけのトッカビと朝鮮人参	II 31	とらとふえふき	II 8
おぼけのトッケビ	V 6	とらとほしがき	II ②
お日さまとお月さまに なつたきょうだい	II 20	とらよりこわいほしがき	II 5
かあさんまだかな	III 2	なかよしむら	IV22
かぜひいちゃった日	IV45	ねこといぬとたからの玉	II 35
蚊とうし	IV24	ノルブとフンブ	II 16
かわべのトンイとスニ	IV57	パパといっしょに	IV28
きょうはソンのうちで キムチをつけるひ!	I 16	パンチョギ	II 55
黄牛のおくりもの	III 12	ひきがえるのおんがえし	II 33
クムカン山のトラたいじ	II 25	火をぬすむ犬	II 32
くらやみのくにからきたサブサリ	IV11	人食いとらのおんがえし	II 41
こいぬのうんち	III 10	日よ日よ紅え日よ	I 25
こかげにごろり	V 8	ふしぎなかけじく	IV39
こだぬきさんちのはるむかえ	III 14	ふわふわくもパン	IV50
ことりはことりは木でねんね	I 26	フンブとノルブ	II ④
五人の小さなごうけつ	II 48	へちとかいぶつ	IV26
このよでいちばん大きな男の子	II 54	へらない稲たば	V 3
ごまひとつぶで・・	II 22	べんきょうなんてやるもんか!	IV58
さいごにのこるの、だあれだ	IV33	ヘンニムとタルニム	II ⑤
さばくのきょうりゅう	IV 3	ぼくはぼうけんいちねんせい	V 10
さびしがりやのトッケビ	II 34	洪吉童(ホン ギルドン)	II 43
さんねん峠	V 2	マンヒのいえ	I 3
七人のふしぎなじいさま	II 58	山になった巨人	IV6
しろいはうさぎ	IV30	山をはこんだ九ひきの竜	II 42
しろいまゆげのトラ	II 40	ゆきやま	IV4
スニちゃん、どこゆくの	IV34	ゆらゆらゆくよ	III 13
水宮歌(スグンガ)	I 22	よじはんよじはん	III 6
せかいいちつよいおんどり	IV23	ヨンのビニールがさ	IV56
仙女ときこり	V 11	竜宮城へいった娘	II 44
ソリちゃんのチュソク	I 5	りんごのおくりもの	V 4
ソルビム お正月の晴れ着	I 12	わたしの社稷洞	I 2
ソルビム お正月の晴れ着 2	I 13		
七夕のお星さん	II 50		
だれかな、だれだろ	IV40		
壇君	II 57		
たんぽぽのはらで	V 12		
力持ちのパンチョギ	II 49		
チゲとむしろと おばあさんのとらたいじ	II 2		

< 画家索引 >

* 原書のみの一部の著者は省略した。

アン, チョンオン	II 19
イ, ウギョン (이우경 李友慶)	IV 1
イ, オクベ (이억배 李億培)	IV 12

イ,ガンイク (이광익)	IV25	シン,ドンジュン (신동준)	IV28
イ,ジョンミ (이종미)	IV30	シン,ミンジェ	II 39
イ,スヨン	II 23	ソン,ジンホン (송진헌 宋珍憲)	IV27
イ,ソンビョ (이성표)	IV7	チャ,ジョンイン (차정인)	IV23
イ,ダム (이담)	III15	チェ,スッキ (최숙희 崔淑姬)	II 1
イ,チュンギル(이춘길 李春吉)	I 7	チョ,ヘラン (조혜란 趙惠爛)	I 20
イ,テス (이태수)	IV16	チョン,スクヒャン(정숙향 鄭淑香)	V 3
イ,ヘリ (이혜리)	IV4	チョン,スニ (정순희)	IV32
イ,ホベク (이호백 李鎬伯)	IV22	チョン,スンガク(정승각 鄭昇珏)	IV5
イ,ユツナム	I 22	チョン,ヨンガン (정용양)	IV8
イ,ヨンウオン(이영원)	I 10	パク,ウニョン(박은영)	I 18
イ,ヨンギョン (이영경 李吟庚)	IV19	パク,ジェヒョン	II 7
イム,ジョンガ (임정아)	IV15	パク,スンボ (박순보)	IV9
イン,ガン (인강)	IV33	パク,ソンワン (박성완)	IV6
オ,ピョンハク (오병학 吳炳学)	V 1	パク,ミニ (박민의 朴民宜)	V 2
カク,チョンヤン(곽충양 郭充良)	V 4	パク,ワンスク (박완숙)	I 17
カン,ウヒョン (강우현 康禹鉉)	IV2	ハン,ジヒ (한지희)	IV18
カン,ヒヨミ (강효미 姜孝美)	V 6	パン,ジョンファ	I 16
カン,ヨンベ (강요배)	III9	ハン,ソンオク	I 2
キム,ウイスク (김의숙)	IV21	ハン,チャンス	II 56
キム,グニ (김근희)	III15	ハン,テヒ	II 38
キム,シヨン (김시영)	IV26	ハン,ピョンホ (한병호 韓炳浩)	IV13
キム,ジェホン	IV35	ハン,ユミン (한유민 韓裕珉)	I 8
キム,ジョンエ (김정애 金正愛)	V 5	ペ,ヒョンジュ	I 12
キム,ドンス (김동수 金東受)	IV24	ペク,テスン	II 40
キム,ドンソン (김동성 金東成)	II 37	ペク,ヒナ (백희나)	IV29
キム,ピョンホ (김병호)	IV34	ホー,チョイドン	II 44
キム,ファンヨン (김환영)	II 6	ホン,ソンチャン(홍성찬 洪性鑽)	IV11
キム,ヘファン(김혜환 金惠煥)	I 14	ホン,ヨンウ (홍영우 洪永佑)	II 43
キム,ヨンジン	IV36	ユ,エロ (유애로 柳愛路)	IV10
キム,ヨンチョル (김용철)	III7	ユン,ジョンス (윤정주)	IV31
クオン,ジェリョン	II 54	ユン,ミスク (윤미숙)	II 3
クオン,ヒョクト (권혁도)	IV20	リュウ,チェス (류재수 柳在守)	IV3
クオン,ユンドク (권윤덕 權倫德)	IV14		
シム,ミア(심미아 沈美娥)	II 20		
シン,カヨン (신가영)	IV17		



ぷらたなす 第58号

東京都立多摩図書館児童青少年資料係 発行

〒190-8543 東京都立川市錦町 6-3-1

電話 042-524-6428(ダイヤルイン)

発行日 2008年3月24日